

- 新興国株式は米金利上昇・米ドル高基調を嫌気して、軟調な展開。ただし、今年に入ってからの米ドル高・新興国通貨安については、需給的な側面が影響した可能性も考えられる。
- 過去には、新興国株式の大幅な下落は米金利低下局面で比較的多くみられた。新興国経済は引き続き堅調さが見込まれており、新興国株式に対する先行き懸念はやや行き過ぎと思われる。

## 新興国株式は米金利上昇・米ドル高を嫌気し軟調

足もと、新興国株式の先行き懸念がくすぶっています。

新興国株式は原油を始めとした商品相場急落などを手掛かりとして2015年に大幅に下落しましたが、2016年は原油価格の持ち直し、また2017年は米ドル安の進行を背景に好パフォーマンスを記録しました。しかし、2018年に入ると米金利上昇・米ドル高基調を嫌気して、軟調な展開となっています。

米金利上昇や米ドル高が新興国にもたらす懸念としては、自国通貨の下落に伴う貿易収支の悪化や対外債務の増大など経済的な側面が挙げられます。ただし、足もとでは投機筋とみられる投資家が米ドルに対する新興国通貨の買いポジションを減らす動きも観測されていることから、今年に入ってからの米ドル高・新興国通貨安については、需給的な側面が影響した可能性も考えられます。

## 経済成長に見合った上昇基調が予想される

過去の金融市場の動きにおいて、新興国株式の大幅な下落は米金利低下局面で比較的多くみられました。世界的な景気減速・後退などを背景に米金利が低下した局面で新興国株式の調整が大きくなったと考えられ、新興国株式にとっては米金利上昇の影響よりも大きくマイナスに働いたものと思われる。

一方、新興国経済に目を転じると、国際通貨基金（IMF）による新興国の経済成長率予想は2018年が4.9%、2019年が5.1%と、成長が加速する見通しとなっており、引き続き堅調さが見込まれています。ブラジルやインドといった新興国の一部では、米ドルに対する自国通貨安が進むなか、景気拡大見通しなどを背景に株式市場は上昇基調を維持しています。

こうしたことなどを考慮すると、新興国株式に対する先行き懸念はやや行き過ぎと思われる、中長期的には経済成長に見合った上昇基調をたどると予想されます。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

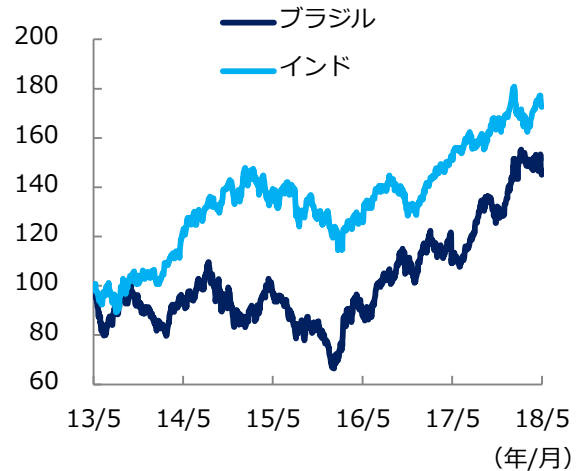
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

## 新興国株式と米金利の推移



※期間：1995年1月～2018年4月（月次）  
 新興国株式はMSCIエマージング・マーケット・インデックス、米金利は米10年国債利回り

## ブラジルとインド 株価指数の推移



※期間：2013年5月22日～2018年5月22日（日次）  
 ブラジルはボブスバ指数、インドはS&P/BSE SENSEX インド指数  
 2013年5月22日 = 100として指数化

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

#### ■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
  1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
  2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
  3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

## 【指数の著作権等】

- MSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ブラジル ボベスパ指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はサンパウロ証券取引所（BM&FBovespa）に帰属します。